



# 笑顔をつなぐ スマイルレールリッパ

## 時代を結ぶ秋田縄文号

## 笑顔を招く絵手紙



沿線の縄文遺跡群をイメージした新観光列車『秋田縄文号』

秋田縄文号は毎月第2、第4土曜日に急行もりよし号として鷹巣駅-角館駅間を笑EMI列車と連結し2両で運行しています。

車内の随所で伊勢堂岱遺跡をはじめ秋田の6つの縄文遺跡(藤株遺跡、白坂遺跡、漆下遺跡、瀧前遺跡、黒倉遺跡)から出土した土器や土偶、岩偶を紹介しています。細部までこだわりのデザインでワインレッドと栗色が落ち着いた空間を演出し、大きく開放的な窓からは美しい里山の景色が存分に楽しめます。



トンネル通過時に光る天井



願いが叶うと言われる十二段トンネル通過時に天窗を見ると、縄文風ラインと秋田犬が緑に光ります！ 暗い列車内での撮影は難しいですが是非写真に収めて欲しいです 私は写真に夢中になり過ぎて願い事を考える余裕がありませんでした😊



連結する笑EMI列車の内装は田沢湖をイメージした青いシート。そして天井にはイタヤ細工を模した秋田犬が施され秋田縄文号とは一味違う雰囲気の内車内。それぞれの空間と、沿線風景を満喫してみてもは如何でしょうか

考古学、縄文時代と聞くと難しい印象を持つ人も多いのではないのでしょうか？まさに私もその1人。しかし、この秋田縄文号内のイラストを描いた一枝さんのお話を聞くと自然と表情も緩んできます😊 どんな思いで絵手紙を？何故土偶？「趣味で描く絵手紙のモチーフを探しているうちに土偶のユニークな形に興味を持ち言葉を添えて出すようになりました。土偶はミステリアスな部分が多く、各々の想像が膨らむ点に魅力を感じます。」とお話してくれました。歴史的な出土品としてだけではなく土偶が人と人を繋ぐコミュニケーションツールになっているとは、とても素敵な交流ですね。皆さんも推し土偶を探してみるのはいかがでしょうか？



仙北市在住絵手紙師

すずきかずえ  
鈴木一枝さん



見た人にクスッと笑ってもらえるような絵手紙をテーマにしていると仰る通り、個性が光る素敵な絵手紙を沢山見せて頂きました。



## 音楽と笑顔の米内沢駅

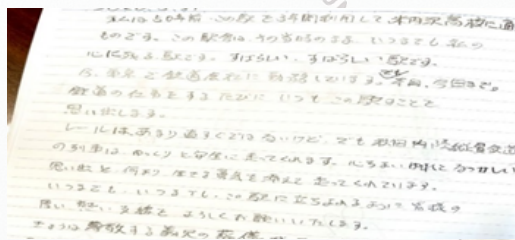
鷹巣駅から6駅先の米内沢駅。駅舎の花壇は綺麗に手入れされ列車到着の3分前になると“浜辺の歌”の駅メロが流れます♪ 駅から車で約7分の白坂遺跡から出土した笑う岩偶も観光駅長としてお出迎えしてくれます。約4000年の笑顔☺！懐かしい雰囲気溢れる米内沢駅を管理する信子さんは『過疎化が進み地域の人々の交流する場が減る中で、誰でも気軽に立ち寄れる場所を作りたいと思い、駅舎内に売店“赤い鳥”をオープンしました。』と優しい口調で話してくれました。その言葉通り“赤い鳥”では1杯50円のコーヒーや駄菓子があり、列車到着までゆったりと穏やかな時間を過ごすことができます。駅にある“思い出ノート”にはこの米内沢駅や秋田内陸線への温かい思いが綴られており、時代を超えて愛されていることを感じ、癒されます♡



無料レンタサイクルを利用し日本初の童謡を作曲したと言われる成田為三生誕の地に建つ「浜辺の歌音楽館」や笑う岩偶が出土した「白坂遺跡」へ訪れることができます。米内沢駅の他、阿仁合駅、合川駅でも無料レンタサイクルを楽しむことができます。



米内沢駅管理人  
NPO北秋田ハッピーデリバリー  
さとうのふこ  
佐藤信子さん



## 伊勢堂岱遺跡世界遺産登録へ



北秋田市教育委員会  
学芸員 榎本剛治さん  
えのもとたけはる



伊勢堂岱遺跡  
QRコード



空港道路建設に伴う発掘調査時に発見された約4,000年前の遺跡。最大の特徴は4つのストーンサークル！同じ場所に4つもあるのは非常に稀なケースで他には発見されていません。更に興味深いのは北秋田から北海道までの遺跡群からは同じ土器や狩猟道具を使い、同じ祭りをしていたと判明している事です。4,000年も昔に海を越えていたとは驚きです！土偶は壊されたものしか発見されていないことから、縄文人は願いを込めて壊していたという説があります。また、この伊勢堂岱縄文館は建物のデザインもこだわったといえます。「親しみやすい空間なので多くの子供達にも来てもらい、未来の考古学者が増えてくれたら嬉しい」と話す榎本さんが印象的でした。



4つのストーンサークル

## 大館能代空港



空港から伊勢堂岱遺跡まで車で約5分。飛行機利用以外でも、立ち寄り易いのも魅力です。空港では“8”が付く日の午前到着便に合わせて秋田犬がお出迎えしてくれます♡是非併せてお楽しみ下さい✈